

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
士別市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用
			●			●

現行の経営体制を継続

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等					
実施済	●	(実施類型) 汚水処理施設の統廃合	(取組の概要) 令和6年度から下水道事業を法適化するのにあわせ、会計システムを共同で導入した。	(実施(予定)時期) 令和 5 年 4 月 3 日		
		処理場廃止あり	処理場廃止なし			
		公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合	特環下水と公共下水との統合	
					その他	
実施予定		汚泥処理の共同化	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)		
			●			
(取組の効果額) 1.7 百万円(年)	(取組の効果額内訳) 会計システム導入費 年▲0.7 システム使用料 年▲1.0 計 年▲1.7					
(取組の概要) 検討中	→	(検討状況・課題)				

取組事項	民間活用(PPP/PFI方式の活用)					
実施済		(取組の概要)	(方式)	(導入・契約(予定)時期)		
		将来的な人材不足解消の施策として検討を行った。	BTO方式 BOT方式 BOO方式 DB方式 DBO方式	公共施設等運営権方式(コンセッション方式) 港湾運営会社制度 その他 ●	令和 10 年 4 月 1 日	
実施予定	●					
(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳)					
	→	(検討状況・課題)				
検討中						